

保健医療サービスの知識等

基礎 問題 26 ～ 問題 40

総合 問題 41 ～ 問題 45

問題 26 次の記述について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 CRP (C反応性たんぱく質)は、感染症などによる炎症の程度を示す。
- 2 胸部X線検査は、結核などの呼吸器疾患だけでなく、うっ血性心不全などの心疾患の診断にも有用である。
- 3 ノロウイルス感染症では、下痢などの症状がなくなれば、感染力はない。
- 4 ウイルス感染では、白血球数が上昇する。
- 5 尿検査は、糖尿病や腎臓病だけでなく、尿路感染症の診断にも有用である。

問題 27 低栄養について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 浮腫や腹水がみられる場合には、低栄養も疑われる。
- 2 高齢者の低栄養は、ビタミンとミネラルの摂取不足が主な原因である。
- 3 低栄養は、褥瘡の発生要因の一つである。
- 4 仲間と一緒に食事をすることは、食事以外に関心が向き、食欲を減退させるため、低栄養のリスクを高める。
- 5 上腕や下腿の周囲長は、寝たきりなどで体重測定が難しい場合の低栄養の判定に使われる。

**問題 28** 嚥下や口腔ケアについて、より適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 片麻痺による運動障害や感覚障害がある場合には、麻痺側の口腔内が汚れやすくなる。
- 2 成人の唾液の1日の分泌量は、100～200 mlといわれている。
- 3 嚥下機能が低下している場合には、感覚が鈍くなるので、氷などの冷たいものを口に入れることは避ける。
- 4 口腔ケアは、口腔内細菌を減少させるので、誤嚥性肺炎の予防に有効である。
- 5 義歯が本人に合っている場合には、義歯を外さないで口腔ケアを行う。

**問題 29** 薬剤について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 服薬が困難な場合には、貼付剤など他の剤型の薬剤の使用も考慮する。
- 2 腎機能が低下している場合には、血中濃度が下がるため、抗菌薬を使用するときは、適宜増量する。
- 3 BPSD(認知症の行動・心理症状)がある場合には、漢方薬は使用しない。
- 4 飲み忘れを防止するためには、「お薬カレンダー」などを利用する。
- 5 降圧剤を内服中の高齢者は、薬の作用により転倒しやすい。

問題 30 介護保険施設について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 老人性認知症疾患療養病棟は、BPSD(認知症の行動・心理症状)のために在宅や他の施設での療養生活が難しい要介護者が入院する施設である。
- 2 介護老人保健施設には、肺炎、尿路感染症又は带状疱疹について、投薬、検査、注射、処置等を行った場合の加算がある。
- 3 介護老人保健施設は、在宅復帰を目指す施設であるため、看取りは行わない。
- 4 介護老人保健施設は、地域の住民やボランティア団体等との交流が制限されている。
- 5 介護老人保健施設は、要介護度や所得の多寡を理由にサービスの提供を拒否することが禁止されている。

(注) 選択肢4及び5は、「介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準」(平成11年厚生省令第40号)の定める内容による。

問題 31 胃ろうについて、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 経口摂取に移行しようとする場合には、多職種による経口移行計画を作成して行う。
- 2 半固形栄養剤の使用により、胃食道逆流や下痢を防止できる可能性がある。
- 3 カテーテルが抜けた場合でも、ろう孔から胃の内容物が漏れなければ、医師に報告する必要はない。
- 4 チューブ型カテーテルを固定する際には、体表から1～2cm程度の「あそび」を持たせるように外部ストッパーを調整する。
- 5 胃ろうを造設している場合は、原則として、入浴は禁止されている。

問題 32 次の記述について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 血圧低下とともに大量の黒色便を認めたが、鮮紅色ではなかったため、問題はないと判断した。
- 2 飲食物を大量に嘔吐したため、側臥位にして、口の中に残った吐物を取り除いた。
- 3 激しい下痢が続いたため、水分摂取を控えさせた。
- 4 一過性ではあったが、明らかな片麻痺を認めたため、医師に報告した。
- 5 転倒により下肢の骨折が疑われたため、下肢を動かさないようにした。

問題 33 排泄について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 日常生活動作の低下による機能性失禁では、排泄に関する一連の日常生活動作の問題点を見極めることが重要である。
- 2 便失禁は、すべて医学的治療を要する。
- 3 ポータブルトイレやおむつについては、理学療法士等の多職種と連携し、日常生活動作に適合したものを選択する。
- 4 切迫性尿失禁には、膀胱訓練よりも骨盤底筋訓練が有効である。
- 5 排便コントロールには、排便間隔を把握し、食生活や身体活動等を含めた生活リズムを整えることが大切である。

問題 34 終末期のケアについて、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 呼吸困難や疼痛に対しては、投薬のほか、安楽な体位やマッサージなどで苦痛の緩和を図る。
- 2 食事については、楽しみや満足感よりも、摂取量や栄養バランスを優先する。
- 3 緩和ケアは、在宅では行われたい。
- 4 要介護認定の前でも、保険者が必要があると認めた場合には、暫定ケアプランを作成して介護サービスを利用することができる。
- 5 臨死期において、肩や顎だけが動き、喘<sup>あえ</sup>いでいるように見えるのは、呼吸停止に至る一連の動きである。

問題 35 次の記述について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 せん妄は、さまざまな全身疾患に伴う非特異的な症状として出現する。
- 2 夜間にせん妄が増悪する場合には、昼間に適度な刺激と散歩などの活動の機会をつくり、夜間に睡眠できるように配慮する。
- 3 せん妄は感覚の遮断で改善するので、静かな環境を整備し、眼鏡や補聴器の装着を避ける。
- 4 アルコール依存症のケアでは、飲酒以外に楽しみのある生活ができるまでは、安易に断酒会には参加させない。
- 5 うつ症状には、降圧剤などの薬剤に起因するものもある。

問題 36 次の記述について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 パーキンソン病では、安静時の振戦やあらゆる動作が乏しくなる無動、仮面様顔<sup>がん</sup>貌<sup>ぼう</sup>などもみられる。
- 2 慢性硬膜下血腫は、血腫除去術の治療を行っても、ほとんどもとの認知機能レベルには戻らない。
- 3 閉塞性動脈硬化症では、歩行時に下肢痛が出現し、立ち止まって休んでも痛みが軽減せず持続する。
- 4 脊髄損傷では、痛みや温度感覚が失われることもあるため、低温熱傷や擦過傷等に注意する。
- 5 帯状疱疹は、早期に治療を始めると、帯状疱疹後神経痛などの後遺症が少なくなる。

問題 37 難病について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 進行性核上性麻痺では、早期から眼球運動障害や認知機能の低下が認められる。
- 2 脊髄小脳変性症では、運動能力を維持するリハビリテーションや環境整備により、ADLを維持することが重要である。
- 3 潰瘍性大腸炎は、発症時に重症であっても、経過観察で完治する。
- 4 後縦<sup>こうじゅうじんたい</sup>靭帯骨化症では、首を強く後ろに反らすことにより症状が悪化する場合があるため、そのような動作は避ける。
- 5 筋萎縮性側索硬化症(ALS)は、症状は進行性で、数年で四肢麻痺、摂食障害、呼吸麻痺となり、痛みなどの知覚や記憶力も失う。

問題 38 次の記述について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 喀痰の吸引に必要な吸引器は、介護保険により給付される。
- 2 膀胱留置カテーテルを留置している場合には、蓄尿バッグは、膀胱より低い位置に置く。
- 3 人工呼吸療法には、気管切開により行う場合や、口や鼻からマスクにより行う場合などがある。
- 4 インスリンの自己注射を行っている場合には、低血糖による意識レベルの変化に注意する。
- 5 人工透析を行っている場合には、シャント側で血圧測定を行う。

問題 39 感染予防について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 手洗いでは、指先、指の間、親指、手首を洗い忘れないようにすることが基本となる。
- 2 手指消毒の方法としては、流水、石けん、アルコール製剤等によるものがある。
- 3 あらゆる人の血液、体液、分泌物、排泄物、創傷のある皮膚、粘膜には感染性があると考えて取り扱うのが、標準予防策の基本である。
- 4 ノロウイルス感染者の嘔吐物の処理の際は、汚染した場所をアルコールで消毒すればよい。
- 5 手袋の使用後は、手指の消毒の必要はない。

問題 40 短期入所療養介護について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 療養病床を有する診療所では、提供できない。
- 2 入所が4日以上になる場合は、居宅サービス計画に沿って短期入所療養介護計画を作成しなければならない。
- 3 利用者には、検査、投薬、注射、処置等の診療を行ってはならない。
- 4 居宅サービス計画にない場合でも、緊急時の利用は可能である。
- 5 あらかじめ、短期入所用のベッドを確保しておかなければならない。

(注) 選択肢2、3及び5は、「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」(平成11年厚生省令第37号)の定める内容による。

問題 41 バイタルサインについて、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 低体温は、環境要因に加えて、低栄養や甲状腺機能低下症、薬剤による体温調節機能不全で起きる。
- 2 悪性症候群は、パーキンソン病薬の内服を開始したときに出現する。
- 3 頻呼吸は、発熱や心不全、呼吸器疾患でみられ、徐呼吸は、糖尿病性ケトアシドーシスや脳卒中による昏睡でみられる。
- 4 毎分50未満の脈拍は高齢者ではよくみられるため、医療職に報告する必要はない。
- 5 急に立ち上がったときに、ふらつきやめまいがみられる場合には、起立性低血圧を考える。

問題 42 訪問看護について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 訪問看護ステーションは、24時間連絡体制が義務付けられている。
- 2 認知症対応型グループホーム入居者は、訪問看護を利用できる。
- 3 訪問看護指示書のとおり訪問看護を提供している場合には、訪問看護報告書を主治医に定期的に提出する必要はない。
- 4 急性増悪時に主治医が特別訪問看護指示書を交付した場合には、訪問看護はその指示の日から2週間に限って介護保険から給付される。
- 5 利用者の意向の反映の機会を保障するため、看護師等は、訪問看護計画書の内容を利用者に説明し、同意を得て、交付する。

(注) 選択肢1、3及び5は、「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」(平成11年厚生省令第37号)の定める内容による。

問題 43 認知症について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 パーソン・センタード・ケア(PCC)は、介護者の効率を優先し、薬物療法等の医療を中心とした認知症のケアである。
- 2 初期では基本的ADLは保たれるが、中期には基本的ADLに支援が必要になるなど、認知症の進行過程により症状やケアの方法が異なる。
- 3 BPSD(認知症の行動・心理症状)は、脳の病変により症状が生じるため、個人因子や環境因子の影響は受けない。
- 4 アルツハイマー型認知症の初期症状としては、近時記憶の障害が著しい。
- 5 認知症初期集中支援チームは、認知症が疑われる者やその家族を複数の専門職が訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行う。

問題 44 リハビリテーションについて適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 リハビリテーションは、その果たす機能と時期から、予防的リハビリテーション、治療的リハビリテーション及び維持的リハビリテーションに分けられる。
- 2 がんの終末期にある者は、治療の効果が期待できないため、リハビリテーションの対象とはならない。
- 3 訪問リハビリテーションとは、病院、診療所又は介護老人保健施設から理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が訪問するサービスをいう。
- 4 変形性膝関節症の発症リスクは、減量をしたり、大腿四頭筋等の筋力を鍛えたりしても、低下しない。
- 5 左片麻痺で見られる半側空間失認に対しては、失認空間に注意を向けるリハビリテーションを行う。

(注) 選択肢3は、「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」(平成11年厚生省令第37号)の定める内容による。

問題 45 居宅療養管理指導について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 主治医は、サービス担当者会議への参加が難しい場合は、原則として、文書等により介護支援専門員に必要な情報提供を行う。
- 2 サービス担当者会議は、居宅療養管理指導を行う医師又は歯科医師が利用者宅に訪問するときに、開催することが可能である。
- 3 薬剤師が行う居宅療養管理指導は、薬局の薬剤師に限定されている。
- 4 居宅療養管理指導は、区分支給限度基準額の対象にならない。
- 5 定期的に通院や訪問診療を受けている場合でも、訪問看護師が療養上の相談及び支援を行った場合には、居宅療養管理指導費を算定することができる。

(注) 選択肢1及び2は、「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」(平成11年厚生省令第37号)の定める内容による。